

2025 年 12 月 16 日

西日本旅客鉄道株式会社

## 地球環境保護の取組みにより「令和 7 年交通関係優良団体大臣表彰」を受賞しました

西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 西日本）は、環境保全に関する活動に関して顕著な功績があったとして国土交通省が実施する「令和 7 年交通関係優良団体表彰 グリーン経営部門」において、「令和 7 年交通関係優良団体大臣表彰」を受賞し、2025 年 12 月 15 日（月）の表彰式にて国土交通省酒井副大臣から理事 中畑経営戦略部長へ表彰状を授与されました。

JR 西日本グループは、環境の取り組み方針である「JR 西日本グループ環境基本方針」のもとで、「地球温暖化防止・気候変動対策」、「循環型社会構築への貢献」、「自然との共生」の 3 つの分野を柱として、グループ一体で地球環境保護に取り組んでいます。

今回は、これら 3 つの分野での統合的な取り組みに対して、独自性、継続性および地域・社会の脱炭素化推進への貢献度を評価頂きました（詳細別紙）。



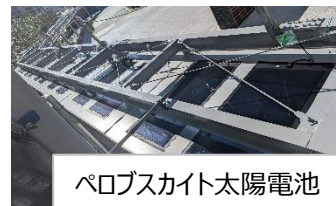
今回の受賞は、当社が経営の重要課題（マテリアリティ）に「地球環境」を掲げ、地球環境保護の取組みを通じ、社会の持続可能性の向上に継続的に取り組む姿勢が評価されたものと、大変意義深く受け止めています。

これからも、社会インフラを担う企業グループとして、地球環境保護の取組みを通じて、長期ビジョンに掲げる「安全、安心で、人と地球にやさしい交通」と「持続可能な社会」を実現し、未来を動かすことを目指し弛まぬ努力を積み重ねてまいります。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 13 番に貢献するものと考えています。

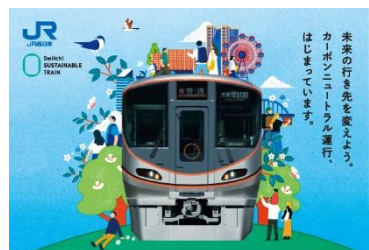
## 駅・商業施設の環境性能の向上 (グリーンビルディング)

- ✓ 大阪駅（うめきたエリア）の使用電力の100%再エネ化とフィルム型ペロブスカイト太陽電池設置（共用部設置は世界初）
- ✓ 大阪駅直結の商業施設（ノースゲートビルディング、サウスゲートビルディングおよびイノゲート大阪）の使用電力の100%再エネ化



## 列車運行の再エネ化

- ✓ 大阪環状線・JRゆめ咲線 再工本100%運行開始
- ✓ 山陽・北陸新幹線、在来線へは継続的に導入拡大中



## PETボトルの水平リサイクル

- ✓ 大阪エリアの使用済PETボトルをPETボトルへ再生するリサイクル工場に供給し、リサイクル品質とトレーサビリティ向上

⇒2024年度実績：57t※



※一般的な500mlのPETボトル約270万本分

### ③自然との共生

## 大阪駅（うめきたエリア）地上部の緑化

- ✓ 広場の緑地整備 (約1,600m<sup>2</sup>)
  - ✓ 屋上・壁面緑化 (約1,900m<sup>2</sup>)
- ⇒緑被率 約30%  
CO<sub>2</sub>吸収効果 約40t/年  
⇒舗装時比で約10%雨水流出を抑制



## 地域と連携した森林再生の取組み

- ✓ 旧三江線沿線の旧鉄道林の森林再生実証を実施

## モーダルシフトの推進

## 行動変容促進

- ✓ 脱炭素がテーマの鉄道利用促進イベント実施（おおさかCO2CO2ポイント+電車de脱炭素スタンプラリー）